

社会福祉法人 敬愛会 シクラメン通信

五福臨門

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、よき新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、「百年に一度」といわれるような災害が日本各地に猛威を振るった一年でもあり、何より日本中が新型コロナウイルス感染症への対応に追われた年となりました。当法人におきましてもご利用者様や地域の安心・安全を守る要であるという使命感を常に抱き、今後も徹底した感染症対策に取り組んでいきたいと思っています。

さて、今年の10月には運営する「特別養護老人ホームシクラメン」が開設二十周年を迎えることとなります。

これもひとえに、ご利用者様及びご家族様をはじめ、地域の皆様や行政及び関係機関の方々のご理解とご支援の賜物であると深く感謝いたすところでございます。

介護現場に目を向けると、社会の高齢化や働き手の減少等により、運営においては非常に厳しい状況に直面しておりますが、これからも地域の皆様やご利用者様から愛され信頼される法人をつくり上げていくために、次代を担う人づくりや各事業所の改善、職員の働き方の改革を行い、職場環境の向上に取り組みながら、ご利用者様への満足度の高いサービスを提供を行わなければなりません。

中津川市においても第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画が策定される年で、当法人も地域の要望にこたえられるよう、職員力を集結して新たな時代を切り開き、飛躍する法人の礎を築く一年にしていきたいと存じます。皆様方の尚一層のご指導、ご支援ご厚情を賜りますようお願いいたしますと共に、この一年間のご多幸を祈念いたします。新年のご挨拶といたします。

理事長 花田 美晴



毎年恒例 炭火焼 五平餅会食

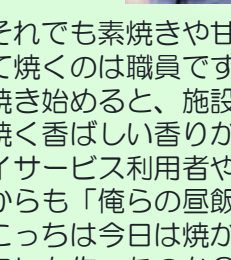
新米を収穫する頃として、11月に恒例となっている「五平餅会食」を今年も実施しました。いつもは入所者の方と一緒に、「あんだのは形がいい」「大きい小さい」などの会話をしながら五平を握りますが、今年は感染防止の為に業者から取り寄せました。



五平もち



それでも素焼きや甘いタレを付けて焼くのは職員です。炭火を熾して焼き始めると、施設全体に五平餅を焼く香ばしい香りが漂い、併設のデイサービス利用者やグループホームからも「俺らの昼飯も五平か?」「こっちは今日は焼くのか?」「タレも作ったのか?」など、五平餅あるあるが施設中に広がっていました。

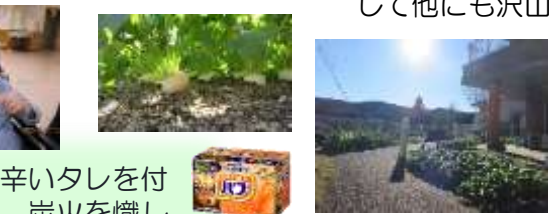


五平もち



五穀豊穣 一生懸命育てた『カブ』大豊作!

特養の芝生広場が毎年少しづつ、いつしか畑に変わって20年。“つつじ”に入所された方が施設長に許可をもらい、普段は車椅子での生活ですが、お尻で移動しながら毎日一人でコツコツと整備。今では立派な畑が庭に広がっています。



施設の南東側、つつじから外に出た所は、東屋もある芝生広場でした。

今年野菜が順調に成長し、一生懸命育てたカブも日に日に大きくなりました。夏にはゴーヤや胡瓜も作り、玉ねぎ、茄子、南瓜など、季節に応じて他にも沢山実りました。



五指から温泉気分いかが?

＜特養3丁目行事＞
コロナ禍でも生活に彩りを! 10月19日、午後から手浴とハンドケアを行いました。入浴剤をお湯に混ぜた洗面器

の手浴は、見た目にも鮮やかなお湯で、利用者の方に喜んでいただけました。寒い日だったのでポカポカと温まり、手浴が終わった方から順に、アロマやクリームを使ってハンドケアを行いました。

(発行者) 岐阜県中津川市阿木2811の1
社会福祉法人 敬愛会
◇清流の国ぎふ健康経営宣言企業登録事業所
◇岐阜県新はつらつ職場づくり宣言登録事業所
◇岐阜県介護人材育成事業者認定事業所...グレード2
EVLINKS



恵那市飯地町で 「のんびりデイサービス」



施設外観



そんな飯地町で、大井シクラメンの出張型として、地元の民家を利用したデイサービスを行っています。

送迎車に長時間揺られることなく、少人数の方が、座敷で家庭的な雰囲気そのままに過ごしていただき、必要な方には介助付きの入浴もあり、のんびりと1日を過ごしていただいています。

飯地町の人口は約650人、山間地で高齢化率45%に達しています。恵那市街地からはカーブの多い急峻な道路で30分程度かかります。最近道路も整備されつつある八百津町方面へ、買い物などに出かける地元の方も多いと聞いています。



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日頃より、ご利用者様、ご家族様、地域の皆様からの温かいご支援と、協力を賜り、心より御礼申し上げます。昨年「コロナ禍の一年」。私たちの高齢者施設も感染対策に明け暮れた年となり、入所されておられる方の外出行事の中止やご家族の面会制限などによって、きつと辛い思いをされた方も多かったことと、思っています。

しかし、「禍」ばかりに目を向けてしまつては光明が見えて来ません。地域の介護を担う事業者として、思いやりと助け合いの心、人と人との絆を大切に、皆様からより信頼していただける施設を目指し、職員一丸となって一歩づつでも前向きに、そして次のステップに向けた一年にしなければなりません。

今年「丑」年。歩はゆっくりですが、これからも皆様方にもご協力いただきながら、地域と共生していけるように努力してまいります。末筆ながら皆様のご多幸とご健康を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

「新しい年に願いを込めて」

特別養護老人ホーム シクラメン

施設長 今井正子

花壇にも冬の気配が・・・



コロナ禍で施設が面会者や外来者の規制をしているため、今年の秋は職員だけで整備させていただきました。



いつもの春や秋には、ご家族やボランティアの皆さまの協力をいただきながら花壇の手入れをしていますが、今年もいつもは、手慣れたボランティアさんが上手に植えて下さるので、今年は仕方がありません。シクラメンの出入口で看板の下にある花壇なので、普段は車で通り過ぎてしまう場所ですが、植えた「葉牡丹」や「パンジー」が訪れる方の和みになれば、と思っております。

～技能実習生あれこれ話～ 実習評価試験

介護の技能実習では、実習が始まって7～8か月目あたりで介護技能実習評価試験（初級試験）があり、24ヶ月以上で専門級試験があります。

試験には実技と学科があり、技能実習生が勤務している事業所や施設で、外部から派遣された試験評価者の立会で、試験時間が各60分で行われます。



試験は、実習生本人の技術習得を確認する為に行われるものですが、一方では介護現場での業務や利用者・職員とのコミュニケーション能力の向上にもなり、介護される側の安心感にも繋がっています。

シクラメンでは、ベトナムから留学生として学びに来ている「ホ・ヴァン・フォン」君に、実習中に習得すべき日本語能力の学習指導などをお願いしていますが、評価試験に向けた会話や読解にも力を入れて、毎週末に3時間程度の熱心な勉強会を実施しながら、実習生がレベルに応じて合格できる様に支援しています。



フォン君



「試験評価者」
特養介護主任
野崎秀弥

介護実技の指導については、当法人の職員の中に介護技能実習評価試験における「試験評価者」の資格を持った者が担っています。

他の施設で評価試験を実施した際の経験を活かしながら、普段の業務においても利用者の方が安心して身を委ねていただける介護の習得を目指して、日々の実践も含めて丁寧に指導しています。

現在就業している3名の実習生も、順次合格することができました。



敬愛の心・地域に愛され地域と共に ～真心をこめた優しい福祉サービス～

☎509-7321 中津川市阿木2811-1 代表 0573-63-3232 ☎509-7201 恵那市大井町神徳1002-3☎

特別養護老人ホームシクラメン（ショートステイシクラメン）

居宅介護支援事業所シクラメン ☎直通0573-63-3202☎

シクラメン地域包括支援センター ☎直通0573-63-3202☎

デイサービスセンターシクラメン ☎直通0573-63-3252☎

グループホームしくらめん ☎直通0573-63-3234☎

シクラメンヘルパーセンター シクラメン地域交流センター

☎509-7201 恵那市大井町神徳1002-3☎

デイサービスセンター大井シクラメン

ショートステイ大井シクラメン

☎509-8232 恵那市飯地町字中下165-8☎

デイサービスセンター飯地シクラメン（サテライト）

☎専用090-6807-9706☎

<http://www.cyclamen.or.jp/>

